
多面的機能支払 メールマガジン
「農村ふるさと保全通信」 第 31 号 (2017. 12. 25)

農林水産省農村振興局 多面的機能支払推進室

多面的機能支払のメールマガジン第 31 号をお届けします。

今回ご紹介する活動組織は、休耕田を活用して地域交流の活性化に取り組む組織です。

長野県で開催されたシンポジウムと、熊本県で開催された地域資源保全女子プロジェクト意見交換会について紹介します。

事務局からは、現地レポートをお届けします。

==== 第 31 号の目次 =====

1. 活動組織の活動紹介

☆井上水土里保全会（福島県いわき市）☆

2. 多面的機能支払に関するイベントの開催報告！

☆農業農村が有する多面的機能の保全を考えるシンポジウム in 長野☆

☆地域資源保全女子プロジェクト意見交換会 in 熊本☆

3. 現地レポート～栗見出在家町魚のゆりかご水田協議会（滋賀県東近江市）

～

（編集後記）

=====

■ 1. 活動組織の活動紹介 ■

☆井上水土里保全会（福島県いわき市）☆

当組織は、福島県いわき市の南部に位置し、海岸線から 5 km ほど内陸に広がる平坦な水田地帯で、約 101ha の農地の保全管理を行っています。

当組織では、休耕田の活用と地域の活性化のため、平成 27 年度から「田んぼアート」に取り組んでいます。「田んぼアート」では、子供からお年寄りまでの地域住民のほか、NPO 法人や近隣の農業高校、工業高校、測量会社などの参加・協力を得ており、今年は白鳥の図柄を描きました。

この取組は地元新聞にも取り上げられ、地区外から訪れる人が増加しました。近くの高台に物見台を設置し、取組を紹介したパネル展など広報活動も行って

います。また、参加・協力いただいている NPO 法人や農業高校の生徒が、田植えや稲刈りの時だけでなく、定期的に生育状況の確認を行っており、見学に訪れる方等との交流が生まれています。

こうした取組によって、農業に対する意識改革や地域住民とのまとまりが生まれ、地域の大きな財産になっています。

◎詳しくはこちらからご覧ください！（福島県 HP）

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36045b/tamenteki-yuuryouzirei.htm>
1

【井上水土里保全会 事務局 松浦勝男】

■ 2. 多面的機能支払に関するイベントの開催報告！ ■

☆農業農村が有する多面的機能の保全を考えるシンポジウム in 長野☆

長野県農業農村多面的機能発揮促進協議会主催による「農業農村が有する多面的機能の保全を考えるシンポジウム」が、11月20日（月）に長野県総合教育センターで開催され、約230名が参加しました。

はじめに、（一社）ロハス・ビジネス・アライアンスの大和田代表から「農業遺産や地域固有の資源を活かした持続可能な地域創生」をテーマにした基調講演が行われました。次に、3つの活動組織からの事例発表として、中山間地の課題である獣害対策の取組や、農業者と市民が一体となって活動を実施し地域のコミュニティを豊かにする取組、広域化のメリット・課題・今後の展望についての発表が行われました。

さらに、信州大学農学部の内川助教が講義され、「今後の交付金の使い方は、本交付金の特性を活かし、公共事業ではできない農地まわりのきめ細やかな取組に活動内容を厳選する必要がある、そのために、適切な工法選択のためのフローチャートや地域特性を踏まえた事例集を活用することが重要である」ことなどが発表されました。

最後には、テーマ別意見交換を実施し、参加者同士の積極的な意見交換が行われるなど、参加者にとって今後の取組の参考になるイベントとなりました。

◎長野県多面的機能発揮促進協議会 HP

<http://www.nagano-nouchimizu.net/news/5207.html>

【関東農政局 農村振興部 農地整備課】

☆地域資源保全女子プロジェクト意見交換会 in 熊本☆

農林水産省農村振興局と九州農政局は12月7日（木）、「地域資源保全女子プロジェクト意見交換会 in 熊本」を開催しました。

このプロジェクトは、多面的機能支払交付金の活動において、女性活躍の機運を高め、活躍しやすい環境づくりを進めることを目的に、各地方ブロックで

実際に活動組織の取組に携わっている女性と意見交換を行うもので、九州ブロックの開催で全国一巡しました。

今回は、九州農政局管内で活躍する女性 12 名の他、県及び推進組織の参加のもと、女性の参加状況や女性が活躍できる環境づくりの方策等について意見交換を行いました。

これまでに全国 9 ブロックに分けて開催しましたが、参加者からは、「子供の参加を増やすためにポイント制を導入し表彰したところ、子供と共に母親の参加も増えた」との事例が報告されました。また、一旦活動を休止した活動組織において、農村地域を守るためには共同活動を実施する必要があるとの機運が高まり、農業者の女性組織が中心となって活動を再開させたことにより、地域コミュニティの強化が図られたという地域もありました。

各ブロックでの意見交換会では、参加者同士が連絡先を交換するなどの交流が見られ、今後の地域間交流の拡大が期待されます。

なお、多面的機能支払推進室では本プロジェクトの内容を取りまとめ、公表することを考えており、女性がより一層活躍できる環境となるよう検討してまいります。

【農林水産省 農地資源課 多面的機能支払推進室】

■ 3. 現地レポート～栗見出在家町魚のゆりかご水田協議会（滋賀県東近江市）～ ■

第 13 号で投稿を頂きました「栗見出在家町魚のゆりかご水田協議会」を訪ねる機会がありましたのでご紹介します。

本組織は、魚が水田に遡上できる魚道の設置や、企業・小学校・水田オーナーと連携した環境・食農教育（第 13 号に掲載）の他に、首都圏の中学生を対象とした教育旅行の受け入れなどを実施しています。また、地域の発展的な活動として、市主催イベントの「魚のゆりかご水田米」を使ったおにぎりやごま団子、クッキーなどの販売や、県内の酒造メーカーと連携した 6 次産業化など、様々な活動に取り組んでいます。

教育旅行の受け入れなど新たな活動に取り組む際には、別の団体からも積極的に学んでおられます。また、水田オーナーである企業から、工場から出た端材を魚道資材として提供していただくなど、様々な団体との連携・交流が図られていました。

「魚のゆりかご水田米」を使った加工品は、全て、本組織の女性陣を中心に試行錯誤して作られたもので、お金をかけない 6 次産業化に取り組んでいるとおっしゃっていました。

素晴らしい取組をされていたので、皆様の活動組織でも参考にされてはいかがでしょうか。

◎栗見出在家町魚のゆりかご水田協議会 HP

<http://members.e-omi.ne.jp/kurimi-dezaike/>

◎「農村ふるさと保全通信」第13号はこちらから

http://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai/nouson_furusato_hozen/index.html

【農林水産省 農地資源課 多面的機能支払推進室】

■ 編集後記 ■

クリスマス、いかがお過ごしでしょうか。ここ数日、キラキラしたイルミネーションやクリスマスソングにわくわくしながら過ごしていたので、25日を境に一気にお正月仕様に様変わりしてしまうと思うと、なんだか寂しい気がします。2017年もあと1週間！良いお年をお迎えください。

◇平成29年度多面的機能支払交付金のあらましは、こちらからご覧ください。

http://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai.html

◇配信先メールアドレスの変更・配信解除等◇

メールアドレス等の変更やメールマガジンの配信解除等は、以下のサイトから手続きをお願いいたします。

<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/>

なお、手続きには、パスワードが必要です。お忘れの場合は、以下のサイトでパスワードを再発行して下さい。

<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/re.html>

◇バックナンバー◇

過去に配信したメールマガジンの閲覧はこちらから

http://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai/nouson_furusato_hozen/index.html

◇ご意見・ご感想等◇

メールマガジンに関するご意見・ご感想や取り上げて欲しいテーマ、ご自身の所属する活動組織の紹介文（300字程度）等に関するメールをお待ちしております。

tamen_ml@maff.go.jp

【発行】

〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1

農林水産省農村振興局整備部農地資源課

多面的機能支払推進室（担当：横田）

TEL：03-3502-8111（内線5493）